

厚生労働科学研究費補助金

医療安全・医療技術評価総合研究事業

新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究

平成 19 年度 総括研究報告書

主任研究者 福井次矢

平成 20 (2008) 年 4 月

目次

I 総括研究報告書

新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究……………	1
福井次矢（聖路加国際病院 院長）	

II 臨床研修に関する調査用紙

資料 1 研修医（2年次）用・通常版……………	7
資料 2 研修医（2年次）用・拡大版……………	15
資料 3 病院用……………	33

III 臨床研修に関する調査報告

1 調査の概要……………	39
2 研修2年次生分結果（通常版）……………	40
3 研修2年次生分結果（拡大版）……………	59
4 病院用結果……………	275

IV 研究班員名簿……………	281
----------------	-----

I 総括研究報告書

平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金（医療安全・医療技術評価総合研究事業）
総括研究報告書

「新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究」

主任研究者： 聖路加国際病院・院長 福井 次矢

【研究要旨】

平成 20 年 3 月に、2 年次研修医（新制度 3 期生）を対象に、臨床研修体制・研修プログラム・処遇に対する満足度、臨床研修終了後の進路、基本的臨床能力の獲得状況、それに症例経験数について自記式アンケート調査を行い、1 年前（新制度 2 期生）、2 年前（新制度 1 期生）に行った調査結果と比較した。

研修体制・研修プログラム・処遇に対する満足度は、経年的に向上している。当初より、大学病院に比べて臨床研修病院の研修医の満足度が高いが、その差は縮まりつつある。基本的臨床能力の修得状況や症例経験数は、ほぼ満足すべき達成度と考えられ、臨床研修病院の研修医と大学病院の研修医との間の差も認めなかった。

【目的】

平成 20 年 3 月時点での 2 年次研修医（平成 16 年に開始された新医師臨床研修制度下の 3 期生）の臨床研修体制・研修プログラム・処遇に対する満足度、臨床研修終了後の進路、基本的臨床能力（知識、技術、態度に関する 99 項目）の修得状況、それに症例経験数（82 の症状・病態、4 種類の医療記録）などを明確にするとともに、平成 19 年 3 月（新制度 2 期生を対象）および平成 18 年 3 月（新制度 1 期生を対象）に行った調査結果と比較する。

【方法】

郵送法による自記式アンケート調査であり、基本的臨床能力と症例経験数のアンケートについては、各施設で 5 人に 1 人の割合で研修医に記載を依頼した。

【結果】

3930 人から回答が得られた。基本的臨床能力と症例経験数については 1124 人から解答が得られた。

1. 臨床研修体制・研修プログラム・処遇に対する満足度

臨床研修病院の研修医 68.2%、大学病院の研修医 50.4%が研修体制に満足していた。その理由は、臨床研修病院では「職場の雰囲気がよい」（33.6%）、「研修に必要な症例・手技の経験が十分」（31.2%）、「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」（30.7%）、大学病院では「指導医の指導が熱心」（39.7%）、「複数の科を回って進路を決める参考になる」（39.4%）、「専門医研修にうまくつながりそうである」（35.1%）、「教育資源（図書など）が十分である」（38.4%）、「職場の雰囲気がよい」（34.0%）などが多かった。一方、満足していない理由としては、臨床研修病院では「研修期間を長くしたい科と短くしたい科がある」（25.3%）、「教育資源が足りない」（23.5%）、大学病院では「雑用が多い」（28.0%）、「待遇・処遇が悪い」（26.9%）などで多かった。

研修プログラムについては、臨床研修病院の研修医 67.9%、大学病院の研修医 54.1%が満足していた。

処遇については、全体で 60.7%の研修医が満足していたが、臨床研修病院で 65.1%、大学病院で 29.5%と大きな違いがあった。

2. 臨床研修終了後の進路

①研修終了後の予定：臨床研修病院の研修医は「現在研修している市中病院で勤務・研修する」（34.3%）、大学病院の研修医は「現在研修している大学病院で勤務・研修する」

(54.2%)が最も多かった。今後、専門としたい診療科が決まっていると答えた3708人のうち、最も多い科は内科11.4%で、以下、外科7.3%、小児科8.1%、消化器科6.0%、整形外科6.0%、循環器科5.5%、麻酔科5.9%、産婦人科5.8%などであった。臨床研修病院、大学病院に拘らず、「専門医・認定医の資格を取りたい」と答えた研修医の割合は9割を超えていたが、「医学博士を取りたい」と答えた研修医は、臨床研修病院の32.0%に対して、大学病院では43.8%であった。

3. 基本的臨床能力の修得状況

99項目中、「できる」と答えた研修医が90%以上の項目が23項目あり、30%以下にとどまった項目が2項目（「眼底所見により動脈硬化の有無を判定できる」(18.3%)、「日常よく行う処置・検査等の保険点数を知っている」(27.5%)）あった。臨床研修病院と大学病院ではほとんどの項目について、差を認めなかった。

4. 症例経験数

82の症状・病態のうち30症状・病態について5例以下と答えた研修医が30%以上であった（多かったのは、「結核」(81.5%)、「緑内障」(74.3%)、「角結膜炎」(73.3%)、「熱傷」(63.8%)など）。

4項目の医療記録中、0通と答えた研修医は、死体検案書が52.3%、CPCレポートが11.8%、死亡診断書7.8%、紹介状0.6%であった。

【結論】

研修体制・研修プログラム・処遇に対する満足度は、新制度1期生の調査以降、今回の3期生まで、経年的に向上していた。当初より、大学病院に比べて臨床研修病院の研修医の満足度が高いが、その差は縮まりつつある。基本的臨床能力や症例経験数は、ほぼ満足すべき達成度と考えられ、臨床研修病院と大学病院との間に差はなかった。

基本的臨床能力や症例経験数についても、ほとんどの項目で満足すべき達成度と考えられ、臨床研修病院と大学病院の間でもほとんど差はなかった。

A. 目的

平成 20 年 3 月時点での 2 年次研修医(平成 16 年に開始された新医師臨床研修制度下の 3 期生)の臨床研修体制・プログラム・処遇に対する満足度、臨床研修終了後の進路、基本的臨床能力(知識、技術、態度に関する 99 項目)の修得状況、それに症例経験数(82 の症状・病態、4 種類の医療記録)などを明確にするとともに、平成 19 年 3 月(新制度 2 期生を対象)および平成 18 年 3 月(新制度 1 期生を対象)に行った調査結果と比較する。

B. 方法

自記式アンケート用紙を作成し、全国の臨床研修病院、大学病院の臨床研修管理委員長に郵送し、回答をお願いした。臨床研修体制・プログラム・処遇に対する満足度、臨床研修終了後の進路についての質問表は、厚生労働科学研究費補助金「卒前教育から生涯教育を通じた医師教育の在り方に関する研究」(主任研究者:篠崎秀夫)と合同で作成した。基本的臨床能力と症例経験数のアンケートについては、各施設で 5 人に 1 人の割合で研修医に記載を依頼した。

質問表は、研修医の属性、病院の属性、研修期間、研修中の時間外勤務、受け持ち患者数、研修への満足度、相談体制、研修後の進路、専門としたい診療科、専門医等の取得について、将来の進路、仕事と生活のバランスなどに関する 20 の質問からなる。基本的な臨床知識、技術、態度の習得状況については 99 項目、経験症例数については 82 の症状・病態、医療記録 4 種類について尋ねた。

基本的臨床能力の修得状況については、「確実にできる、自信がある」、「だいたいできる、たぶんできる」、「あまり自信がない、一人では不安である」、「できない」の 4 段階評価で、経験症例数のうち、症状・病態については 0 例、1・2 例、3・4 例、5 例以上、医療記録については 0 通、1・5 例、6・10 例、11 例以上、のいずれも 4 段階評価とした。

統計学的分析は、基本的臨床能力の修得状況について、「確実にできる、自信がある」あるいは「だいたいできる、たぶんできる」と回答した研修医の割合を「できる」として、それぞれの項目に関して χ^2 乗検定で

比較した。

C. 結果

臨床研修病院の 2 年次研修医 2277 人、大学病院の 2 年次研修医 1653 人の合計 3930 人(男性 2586 人、女性 1334 人、平均年齢 28.0 歳)から回答が得られた。このうち、基本的臨床能力の修得状況と症例経験数について回答したのは臨床研修病院 722 人、大学病院 402 人の合計 1124 人(男性 783 人、女性 383 人、不明 3 人、平均年齢 28.1 歳)であった。

1. 臨床研修体制・プログラム

①研修体制についての満足度：臨床研修病院では 68.2%、大学病院では 50.4% (2 期生ではそれぞれ 64.4%、44.0%、平成 18 年は 65.7%、39.3%) と、臨床研修病院での研修医の満足度が高かった。

②研修制度に満足している理由：臨床研修病院では「職場の雰囲気がよい」(33.6%)、「研修に必要な症例・手技の経験が十分」(31.2%)、「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」(30.7%)、大学病院では「指導医の指導が熱心」(39.7%)、「複数の科を回って進路を決める参考になる」(39.4%)、「専門医研修にうまくつながりそうである」(35.1%)、「教育資源(図書など)が十分である」(38.4%)、「職場の雰囲気がよい」(34.0%) などであり、大学病院での「職場の雰囲気がよい」(2 期生で 21.9%、1 期生で 19.4%)、「指導医の指導が熱心」(2 期生で 29.0%、1 期生で 25.9%) は向上が著しかった。

③研修体制に満足していない理由：臨床研修病院では「研修期間を長くしたい科と短くしたい科がある」(25.3%)、「教育資源が足りない」(23.5%)、大学病院では「雑用が多い」(28.0%)、「待遇・処遇が悪い」(26.9%) などであった。

④研修プログラムについての満足度：臨床研修病院で 67.9%、大学病院で 54.1% であり、2 期生でそれぞれ 62.4%、46.6%、1 期生で 57.1%、37.9% であった。

⑤処遇の満足度：全体では 60.7% が満足していたが、臨床研修病院で 65.1%、大学病院で 29.5% と大きな違いがあった。

2. 臨床研修終了後の進路

- ①研修終了後の予定：臨床研修病院の研修医は、「現在研修している市中病院で勤務・研修する」(34.3%)、「大学病院で勤務・研修する」(32.9%)、「現在研修している病院とは別の市中病院で勤務・研修する」(25.2%)が多く、大学病院の研修医では「現在研修している大学病院で勤務・研修する」(54.2%)、「市中病院で勤務・研修する」(25.4%)、「減じ研修している大学病院とは別の大学病院で勤務・研修する」(12.5%)が多かった。
- ②研修終了後の勤務・研修先を決定した理由：全体では、「専門医取得につながる」(46.3%)、「優れた指導者がいる」(36.4%)、「現在研修している」(28.1%)、「出身大学である」(27.3%)が多かった。臨床研修病院と大学病院で2倍以上の差があったのは、「出身大学である」(それぞれ18.4%、39.4%)、「医学博士号が取れる」(それぞれ6.9%、14.1%)の2項目であった。
- ③研修後に専門としたい診療科：専門としたい診療科が決まっていると答えた3708人のうち、最も多い科は内科11.4%で、以下、外科7.3%、小児科8.1%、消化器科6.0%、整形外科6.0%、循環器科5.5%、麻酔科5.9%、産婦人科5.8%などであった。
- ④専門としたい診療科の変更：全体で約半数(48.7%)の研修医が専門としたい診療科を変更していた。臨床研修病院の研修医に比べて大学病院の研修医がより多く、専門としたい診療科を変更していた(それぞれ46.6%、51.7%)。
- ⑤専門としたい診療科を変更した理由：臨床研修病院、大学病院に拘らず、「研修によって新たに興味がわいたから」(それぞれ32.4%、34.7%)、「自由な時間が少ない」(8.0%、9.4%)などが多かった。
- ⑥専門医・認定の資格取得：臨床研修病院、大学病院に拘らず、「専門医・認定医の資格を取りたい」(それぞれ93.7%、92.8%)研修医の割合は9割を超えていた。
- ⑦医学博士号の取得：「医学博士を取りたい」と答えた研修医は、臨床研修病院の32.0%に対して、大学病院では43.8%と多かった。

3. 基本的臨床能力の修得状況

- ①99項目中、「できる」と答えた研修医が

90%以上の項目が23項目あり、30%以下にとどまった項目が2項目(「眼底所見により動脈硬化の有無を判定できる」(18.3%)、「日常よく行う処置・検査等の保険点数を知っている」(27.5%))あった

②「眼底所見により動脈硬化の有無を判定できる」について臨床研修病院と大学病院で差を認める(「できる」と答えた研修医は、それぞれ14.7%、24.9%)以外は、両者について差がなかった。

4. 症例経験数

①82症状・病態のうち、5例以下にとどまったと答えた研修医が30%以上であったのは30項目(多かったのは、「結核」(81.5%)、「緑内障」(74.3%)、「角結膜炎」(73.3%)、「熱傷」(63.8%)など)であった。

②4項目の医療記録中、0通と答えた研修医は、死体検案書が52.3%、CPCレポートが11.8%、死亡診断書、紹介状0.6%であった。

D. 考察

研修体制・研修プログラム・処遇に対する満足度は、新制度1期生の調査以降、今回の3期生まで、経年的に向上していた。当初より、大学病院に比べて臨床研修病院の研修医の満足度が高いが、その差は縮まりつつある。

基本的臨床能力や症例経験数についても、ほとんどの項目で満足すべき達成度と考えられ、臨床研修病院と大学病院との間でもほとんど差はなかった。

E. 結論

研修医の満足度で見ると、大学病院での研修の質の向上が大きく、旧制度下で見られたような臨床研修病院との差は縮まりつつある。基本的臨床能力や症例経験数についても、新制度下での満足すべき達成度が維持されていて、臨床研修病院と大学病院との間でもほとんど差はない。

F. 研究発表

1. 論文発表 7件

1) 福井次矢、高橋理、徳田安春、大出幸子、野村恭子、矢野栄二、青木誠、木村琢磨、川南勝彦、遠藤弘良、水嶋峻朔、篠崎英夫。臨床研修の現状：大学病院・研修病

院アンケート調査結果. 日本内科学会雑誌
2007;96:2681-2694

2) Nomura K, Yano E, Aoki M, Kawaminami K, Endo H, Fukui T. Improvement of residents' clinical competency after the introduction on new postgraduate medical education program in Japan. Med Teach 2008;30(6):e161-169

3) Nomura K, Yano E, Mizushima S, Endo H, Aoki M, Shinozaki H, Fukui T. The shift of residents from university to non-university hospitals in Japan: a survey study. J Gen Intern Med 2008;23(7):1105-1109

4) 大出幸子、徳田安春、高橋理、福井次矢. 気になる臨床研究のはなし レジデントノート 2008;9(11):1657-1659

5) Ohde S, Takahashi O, Jacobs JL, Tokuda Y, Omata F, Hinohara S, Fukui T. Japanese Medical Residents' Self-Assessed Confidence in Clinical Research Skills Improves with Experience of Scholarly Activities. General Medicine 2008 (in press)

6) Takahashi O, Ohde S, Jacobs JL, Tokuda Y, Omata F, Fukui T. Residents' experience of scholarly activities is associated with higher satisfaction with residency training: A national survey study in Japan. Journal of General Internal Medicine (submitted)

7) Jacobs JL, Takahashi O, Ohde S, Tokuda Y, Omata F, Fukui T. PDA usage is very low in Japanese healthcare: a cohort survey of Japanese resident physicians. (submitted)

2. 学会発表 8件

1) 福井次矢、青木誠、木村琢磨、野村恭子、川南勝彦、遠藤弘良、水嶋春朔、高橋理、徳田安春、大出幸子、矢野栄二. 2年次研修医の臨床能力にもたらした新研修制度の影響. 第39回日本医学教育学会総会、盛岡、2007年7月27日 [抄録: 医学教育 2007;38(Suppl.):29]

2) 矢野栄二、野村恭子、青木誠、木村琢磨、川南勝彦、遠藤弘良、水嶋春朔、高橋理、徳田安春、大出幸子、福井次矢. 新医師研修制度下研修医の特性と満足度: 大学病院と一般研修病院との比較. 第39回日本医学教育学会総会、盛岡、2007年7月27

日
[抄録: 医学教育 2007;38(Suppl.):27]

3) 水嶋春朔、遠藤弘良、石川雅彦、曾根智史、川南勝彦、青木誠、矢野栄二、福井次矢. 新医師臨床研修制度第1期生を対象とした臨床研修の満足度・目標達成度に関する調査結果. 第39回日本医学教育学会総会、盛岡、2007年7月27日 [抄録: 医学教育 2007;38(Suppl.):27]

4) 大出幸子、高橋理、徳田安春、福井次矢. 医師臨床研修プログラムにおける臨床研究活動の実態. 第39回日本医学教育学会総会、盛岡、2007年7月27日

[抄録: 医学教育 2007;38(Suppl.):94]

5) 木村琢磨、高橋理、徳田安春、大出幸子、野村恭子、矢野栄二、青木誠、川南勝彦、遠藤弘良、水嶋春朔、篠崎英夫、福井次矢. 総合内科を志望している研修医の特徴. 第40回日本医学教育学会、東京、2008年7月25日 [抄録: 医学教育 2008;39(Suppl.):99]

6) 高橋理、大出幸子、徳田安春、野村恭子、矢野栄二、木村琢磨、青木誠、水嶋春朔、遠藤弘良、福井次矢. 臨床能力獲得の地域格差. 第40回日本医学教育学会、東京、2008年7月25日 [抄録: 医学教育 2008;39(Suppl.):142]

7) 野村恭子、矢野栄二、青木誠、木村琢磨、川南勝彦、遠藤弘良、水嶋春朔、篠崎英夫、高橋理、徳田安春、大出幸子、福井次矢. 満足度と臨床技能の関連. 第40回日本医学教育学会、東京、2008年7月25日 [抄録: 医学教育 2008;39(Suppl.):82]

8) Takahashi O, Ohde S, Fukui T et al. Residents' experience of scholarly activities is associated with overall satisfaction with their residency training in Japan. SGIM 31st Annual Meeting, Pittsburgh, Pennsylvania (April 2008)

H. 知的所有権の出願・取得状況 (予定を含む)

1. 特許取得 0件
2. 実用新案登録 0件
3. その他 0件

Ⅱ 臨床研修に関する調査用紙

資料 1 研修医（2年次）用・通常版

平成19年度 臨床研修に関する調査

厚生労働科学研究班：「新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究」

＜主任研究者：福井次矢（聖路加国際病院院長）＞

同：「卒前教育から生涯教育を通じた医師教育の在り方に関する研究」

＜主任研究者：篠崎英夫（国立保健医療科学院院長）＞

【記入上の注意】

1. この調査票は2年目の研修医の方がご記入ください。
2. 調査票は、同封の封筒に入れ、封をしたのち、病院に提出してください。ご回答いただきました内容については、次のように取り扱います。
 - ① 調査目的以外には使用いたしません。
 - ② 統計的に処理し、個人名等が特定できないように配慮します。
 - ③ 自由記述の内容も、個々の回答者が特定されないよう配慮し、データ化します。
 - ④ 調査の拒否や、調査項目の一部への回答拒否があっても、そのことで不利益が生ずることはありません。
 - ⑤ 調査結果は、報告書として公表されます。

なお、調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

＜アンケート内容に関する問い合わせ先＞

〒100-8916

東京都千代田区霞ヶ関1-2-2 厚生労働省 医政局 医事課 医師臨床研修推進室

TEL 03-5253-1111(内線 2568)、03-3595-2196(夜間直通) FAX 03-3591-9072

※ 以下の項目について、あてはまるものを○で囲む、あるいは（ ）内にご回答ください

I あなたの属性について

性別	1 男性	2 女性	実家(父母の家)の 現在の所在地	都道府県
年齢	歳		出身地(育った土地)の 都道府県	都道府県
出身大学	大学			

II 臨床研修について

【病院の属性について】

問1 あなたの研修プログラムを管理している病院の名称

問2 研修プログラムを管理している病院の所在地

 都道府県

問3 研修プログラムを管理している病院の規模（病床数）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 100床未満 | 4. 500床以上 700床未満 |
| 2. 100床以上 300床未満 | 5. 700床以上 900床未満 |
| 3. 300床以上 500床未満 | 6. 900床以上 |

【研修期間の内訳について】

問4 「地域保健・医療」研修ではどのような施設で研修しましたか

	研修期間
1 保健所	ヶ月
2 へき地・離島診療所	ヶ月
3 中小病院・診療所	ヶ月
4 介護老人保健施設	ヶ月
5 社会福祉施設	ヶ月
6 赤十字社血液センター	ヶ月
7 各種検診・検診の実施施設	ヶ月
8 その他	ヶ月
合計	ヶ月

【研修への満足度】

問5 あなたが現在研修している病院の研修体制等に満足していますか

- 1 満足している 2 満足していない 3 わからない

問5-1 あなたが現在研修している病院の研修で満足している点は何ですか
(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1 指導医の指導が熱心 | 10 相談体制が十分整っている |
| 2 研修に必要な症例・手技の経験が十分 | 11 第一志望の病院である |
| 3 待遇・処遇がよい | 12 プライマリ・ケアの能力を身につけられる |
| 4 研修に対する診療科間(病院間)の連携がよい | 13 全人的医療を学ぶことができるから |
| 5 コ・メディカルとの連携がうまくいっている | 14 専門医研修にうまくつながりそうである |
| 6 受け入れ体制が十分整っている | 15 期待していた通りの内容である |
| 7 職場の雰囲気が良い | 16 複数の科を回って進路を決める参考になる |
| 8 教育資源(図書など)が十分である | 17 その他() |
| 9 雑用が少ない | |

問5-2 あなたが現在研修している病院の研修で改善すべき点は何ですか
(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1 指導医から十分に教えてもらえない | 12 プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない |
| 2 研修に必要な症例・手技の経験が不十分 | 13 全人的医療を学ぶことができない |
| 3 待遇・処遇が悪い | 14 専門医研修にうまくつながりそうでない |
| 4 研修に対する診療科間(病院間)の連携が悪い | 15 思っていたよりも内容が厳しすぎる |
| 5 コ・メディカルとの連携がうまくいかない | 16 思っていたよりも内容が楽すぎる |
| 6 受け入れ体制が十分整っていない | 17 分野あたりの研修期間が短い |
| 7 職場の雰囲気が良くない | 18 希望する科を選択できない |
| 8 教育資源(図書など)が足りない | 19 将来専門とする科をもっと長く研修したい |
| 9 雑用が多い | 20 研修期間を長くしたい科と短くしたい科がある |
| 10 相談体制が十分整っていない | 21 その他() |
| 11 第一志望の病院ではない | |

問6 あなたが研修している研修プログラムに満足していますか (○印は1つ)

1 満足している	2 満足していない	3 わからない
----------	-----------	---------

問7 あなたが研修を受けている病院の処遇・待遇に満足していますか (○印は1つ)

1 満足している	2 満足していない	3 わからない
----------	-----------	---------

Ⅲ. 臨床研修後のことについて

【研修後の進路について】

問8 現在の研修プログラムを管理している病院はどちらですか

1 大学病院	2 市中病院
--------	--------

問8-1 大学病院と答えた方は研修終了後の予定はどれですか (○印は1つ)

1 現在、研修している大学病院で勤務・研修する
2 現在、研修しているのとは別の大学病院で勤務・研修する
3 市中病院で勤務・研修する →※この方は問8-3へ
4 臨床系大学院に進学する
5 基礎・社会医学系大学院に進学する
6 基礎・社会医学系研究者(大学院生をのぞく)になる
7 開業する(開業医を引き継ぐ場合も含む)
8 保健所等、医療行政の仕事につく
9 医療・研究以外の仕事につく (具体的に)
10 海外に勤務・留学する
11 まだ決まっていない
12 その他 ()

問 8-2 市中病院と答えた方は研修終了後の予定はどれですか (○印は1つ)

1	大学病院で勤務・研修する
2	現在、研修している市中病院で勤務・研修する →※この方は問 8-3 へ
3	現在研修しているのとは別の市中病院で勤務・研修する→※この方は問 8-3 へ
4	臨床系大学院に進学する
5	基礎・社会医学系大学院に進学する
6	基礎・社会医学系研究者(大学院生をのぞく)になる
7	開業する(開業医を引き継ぐ場合も含む)
8	保健所等、医療行政の仕事につく
9	医療・研究以外の仕事につく (具体的に)
10	海外に勤務・留学する
11	まだ決まっていない
12	その他 ()

問 8-3 ※(研修終了後市中病院で勤務・研修予定)と答えた方への質問です。

その病院で勤務することは、大学医局の紹介ですか

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 9 臨床研修修了後の勤務先(または研修先)を決定した理由は何ですか。あてはまる理由に○をつけてください(あてはまるもの全てに○印)

1 「いわゆる後期研修」プログラムが優れている	11 実家に近い
2 出身大学である	12 出身地である
3 優れた指導者がいる	13 配偶者の居住地・勤務地である
4 現在研修している	14 大都市である
5 給料・処遇がよい	15 子供の教育を考えた
6 施設・設備が充実している	16 へき地医療への情熱を持っている
7 専門医取得につながる	17 先輩医師の紹介
8 医学博士号が取れる	18 大学からの派遣
9 臨床研究が優れている	19 その他 ()
10 基礎研究が優れている	

問 10 臨床研修修了後に勤務・研修する都道府県はどこですか

- | | |
|---------------|---------|
| 1 () 都 道 府 県 | 2 わからない |
|---------------|---------|

【専門としたい診療科】

問 11 臨床研修修了後に専門とする特定の診療科（標榜科による）等を決めていますか

1 決めていない

2 決めている

問 12

右の囲みの中から
○印を1つ付けて
問 11-1, 2へ

1 内科	12 整形外科	23 泌尿器科
2 心療内科	13 形成外科	24 リハビリテーション（理学療法）科
3 呼吸器科	14 美容外科	25 放射線科
4 消化器科	15 脳神経外科	26 麻酔科
5 循環器科	16 呼吸器外科	27 救命救急
6 アレルギー科	17 心臓血管外科	28 総合診療科
7 リウマチ科	18 小児外科	29 病理
8 小児科	19 産婦人科	30 緩和ケア部門
9 精神科	20 眼科	31 医療行政職
10 神経内科	21 耳鼻咽喉科	32 基礎系
11 外科	22 皮膚科	33 その他（ ）

問 11-1 問 11 で “2 「決めている」” と回答した場合、その診療科を選んだ理由はなぜですか
(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 学問的に興味があるから | 6 いい指導医がいたから |
| 2 やりがいがあるから | 7 親や親類がその科だから |
| 3 収入がよいから | 8 先輩や教授に誘われたから |
| 4 自由な時間が多いから | 9 その他（ ） |
| 5 訴訟が少ないから | |

問 11-2 研修前に、どの診療科を専門としたいと考えていましたか。

(あてはまる診療科全てに○印)

1 内科	12 整形外科	23 泌尿器科
2 心療内科	13 形成外科	24 リハビリテーション（理学療法）科
3 呼吸器科	14 美容外科	25 放射線科
4 消化器科	15 脳神経外科	26 麻酔科
5 循環器科	16 呼吸器外科	27 救命救急
6 アレルギー科	17 心臓血管外科	28 総合診療科
7 リウマチ科	18 小児外科	29 病理
8 小児科	19 産婦人科	30 緩和ケア部門
9 精神科	20 眼科	31 医療行政職
10 神経内科	21 耳鼻咽喉科	32 基礎系
11 外科	22 皮膚科	33 その他（ ）

問 11-2-1 研修前に専門としたいと思っていた診療科が変わった場合、
その理由はなんですか (あてはまるもの全てに○印)

- | |
|------------------------------------|
| 1 現在専門としたいと思っている診療科を研修してみて興味がわいたから |
| 2 学問的に興味がないから |
| 3 やりがいがないから |
| 4 収入がよくないから |
| 5 自由な時間が少ない |
| 6 訴訟が多いから |
| 7 いい指導医がいなかったから |
| 8 何となく |
| 9 その他 () |

【専門医等の取得について】

問 12 あなたは専門医・認定医の資格を取りたいと思いますか (○印は1つ)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない | 3 決めていない |
|--------|----------|----------|

問 13 あなたは医学博士号を取りたいと思いますか (○印は1つ)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1 そう思う | 2 そう思わない | 3 決めていない |
|--------|----------|----------|

***** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。*****

資料 2 研修医（2年次）用・拡大版

平成19年度 臨床研修に関する調査

厚生労働科学研究班：「新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究」

＜主任研究者：福井次矢（聖路加国際病院院長）＞

同：「卒前教育から生涯教育を通じた医師教育の在り方に関する研究」

＜主任研究者：篠崎英夫（国立保健医療科学院院長）＞

【記入上の注意】

1. この調査票は2年目の研修医の方がご記入ください。
2. 調査票は、同封の封筒に入れ、封をしたのち、病院に提出してください。ご回答いただきました内容については、次のように取り扱います。
 - ① 調査目的以外には使用いたしません。
 - ② 統計的に処理し、個人名等が特定できないように配慮します。
 - ③ 自由記述の内容も、個々の回答者が特定されないよう配慮し、データ化します。
 - ④ 調査の拒否や、調査項目の一部への回答拒否があっても、そのことで不利益が生ずることはありません。
 - ⑤ 調査結果は、報告書として公表されます。

なお、調査内容についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

＜アンケート内容に関する問い合わせ先＞

〒100-8916

東京都千代田区霞ヶ関1-2-2 厚生労働省 医政局 医事課 医師臨床研修推進室

TEL 03-5253-1111(内線 2568)、03-3595-2196(夜間直通) FAX 03-3591-9072

※ 以下の項目について、あてはまるものを○で囲む、あるいは（ ）内にご回答ください

I. あなたの属性について

性別	1 男性	2 女性	実家(父母の家)の 現在の所在地	都道府県
年齢	歳		出身地(育った土地)の 都道府県	都道府県
出身大学	大学			

II. 臨床研修について

【病院の属性について】

問1 あなたの研修プログラムを管理している病院の名称

問2 研修プログラムを管理している病院の所在地

 都道府県

問3 研修プログラムを管理している病院の規模（病床数）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 100床未満 | 4. 500床以上 700床未満 |
| 2. 100床以上 300床未満 | 5. 700床以上 900床未満 |
| 3. 300床以上 500床未満 | 6. 900床以上 |

【研修期間の内訳について】

問4「地域保健・医療」研修ではどのような施設で研修しましたか

	研修期間
1 保健所	ヶ月
2 へき地・離島診療所	ヶ月
3 中小病院・診療所	ヶ月
4 介護老人保健施設	ヶ月
5 社会福祉施設	ヶ月
6 赤十字社血液センター	ヶ月
7 各種検診・検診の実施施設	ヶ月
8 その他	ヶ月
合計	ヶ月

【研修への満足度】

問5 あなたが現在研修している病院の研修体制等に満足していますか

1 満足している	2 満足していない	3 わからない
----------	-----------	---------

問5-1 あなたが現在研修している病院の研修で満足している点は何ですか
(あてはまるもの全てに○印)

1 指導医の指導が熱心	10 相談体制が十分整っている
2 研修に必要な症例・手技の経験が十分	11 第一志望の病院である
3 待遇・処遇がよい	12 プライマリ・ケアの能力を身につけられる
4 研修に対する診療科間(病院間)の連携がよい	13 全人的医療を学ぶことができるから
5 コ・メディカルとの連携がうまくいっている	14 専門医研修にうまくつながりそうである
6 受け入れ体制が十分整っている	15 期待していた通りの内容である
7 職場の雰囲気が良い	16 複数の科を回って進路を決める参考になる
8 教育資源(図書など)が十分である	17 その他()
9 雑用が少ない	

問5-2 あなたが現在研修している病院の研修で改善すべき点は何ですか
(あてはまるもの全てに○印)

1 指導医から十分に教えてもらえない	11 プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない
2 研修に必要な症例・手技の経験が不十分	12 全人的医療を学ぶことができない
3 待遇・処遇が悪い	13 専門医研修にうまくつながりそうでない
4 研修に対する診療科間(病院間)の連携が悪い	14 思っていたよりも内容が厳しすぎる
5 コ・メディカルとの連携がうまくいかない	15 思っていたよりも内容が楽すぎる
6 受け入れ体制が十分整っていない	16 分野あたりの研修期間が短い
7 職場の雰囲気が良くない	17 希望する科を選択できない
8 教育資源(図書など)が足りない	18 将来専門とする科をもっと長く研修したい
9 雑用が多い	19 研修期間を長くしたい科と短くしたい科がある
10 相談体制が十分整っていない	20 その他()

問6 あなたが研修している研修プログラムに満足していますか (○印は1つ)

1 満足している 2 満足していない 3 わからない

問7 あなたが研修を受けている病院の処遇・待遇に満足していますか (○印は1つ)

1 満足している 2 満足していない 3 わからない

Ⅲ 臨床研修後のことについて

【研修後の進路について】

問8 現在の研修プログラムを管理している病院はどちらですか

1 大学病院 2 市中病院

問8-1 大学病院と答えた方は研修終了後の予定はどれですか (○印は1つ)

1 現在、研修している大学病院で勤務・研修する
2 現在、研修しているのは別の大学病院で勤務・研修する
3 市中病院で勤務・研修する →※この方は問8-3へ
4 臨床系大学院に進学する
5 基礎・社会医学系大学院に進学する
6 基礎・社会医学系研究者(大学院生をのぞく)になる
7 開業する(開業医を引き継ぐ場合も含む)
8 保健所等、医療行政の仕事につく
9 医療・研究以外の仕事につく (具体的に)
10 海外に勤務・留学する
11 まだ決まっていない
12 その他()